切磋琢磨Ⅱ

校長室だより
R1.6.21　第11号

校区防災訓練・授業参観・引き取り訓練

ご協力に感謝します！

～「いのち」について考える日～

多くの方々の協力で大成功！

校区防災訓練は，地域の方々のご協力を得て，「いのち」を守る訓練ができました。年に一回の取り組みではありますが，この訓練を通して，

①自分のいのちを守ること（自助）
②守ったいのちで人を助けること（共助）
③二川の町を守る人材を育てるための種をまくこと

の3点を意識して，毎年取り組んでいます。

新たに，本年度より4年生の総合的な学習の時間に「防災学習」を位置づけて，継続した取り組みを進めていきたいと考えています。いつ，どこで起こるかわからない天災には，物質的な準備だけでなく，心の準備が必要です。この防災訓練での体験は，きっと子どもたちの心に残り，いざという時に率先して「自助・共助の精神」で対応してくれるものと期待しています。

あいにくの雨で，起震車体験ができなかったチームもありましたが，防災危機管理課の金子さんが備蓄品紹介やDVDを使った説明をしてくださいました。とてもためになる内容でした。

＜備蓄品紹介：豊橋市がいざという時のために備えているものを紹介してくれました＞

新しく体験活動に加わった煙体験では，実際火事に遭ってしまったらと，子どもたちが真剣に考えることができました。

火事でこわいのは，炎だけではありません。煙を吸い込むと，有毒ガスや，一酸化炭素中毒，煙の熱でやけどして，呼吸ができなくなるそうです。煙は火よりも先に広がっていく（横は人が歩く速さ・上方向にはひとの速さの2～3倍）ので，煙を吸い込まないようにして逃げることも，しっかり覚えておこう。

＜煙体験＞初めての活動。煙はこわいよ！

＜起震車体験＞

＜搬送訓練＞

＜新聞紙活用＞

＜消防車体験＞

どの活動も，「自分事」として体験し，いざという時に，役立てることが大切です。同じ活動でも学年が上がれば，学ぶ視点も変わってきます。